



廿日市市立佐伯中学校 令和8年度

【自律】学校だより

ホームページ [http:// www.hatsukaichi-edu.jp/saiki-j/](http://www.hatsukaichi-edu.jp/saiki-j/)

学校教育目標:「夢や目標に挑戦し、自己実現を図る生徒の育成」

5月号 (No.4)

令和8年

5月15日 (金)

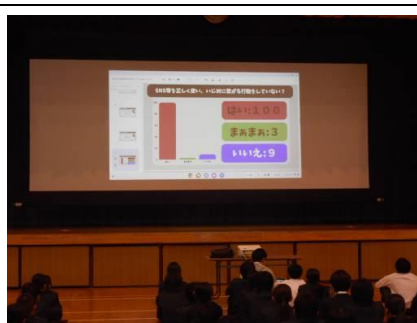
「いのちの大切さについて考える日」

今から13年前に廿日市市内の中学3年生徒が自ら命を絶つという、大変悲しく痛ましい出来事が起こりました。このような出来事を繰り返さないため、廿日市市では翌年の平成26年から、5月8日を「いのちの大切さについて考える日」として、市内の全ての小・中学校で、いのちの大切さについて考える取組を行っています。

今年も佐伯中学校では、「いのちの大切さを考える全校集会」を行ったり、道徳の授業で「いのちの大切さを考える学習」をしたりすることとおして、「いじめは絶対に許されないこと」や「自分や他人の命を大切にすること」などについて、深く考えていきました。全校集会では、生徒会執行委員を中心に、日常のリアルな場面を寸劇で表現して注意を促したり、事前に実施したアンケート結果を基に、いじめのない佐伯中にしようと呼びかけたりしました。そして、生徒会執行委員が一人ずつ「いじめゼロ宣言」をおこなった後、全校生徒が「いじめゼロ宣言」を書いて、代表が全員に向けて発表しました。



生徒会執行委員の劇



生徒会アンケート結果



班ごとに宣言

【いじめについて、心に刻んでほしい3つのこと】

1 「みんなでいじめのない学校にしよう」

いじめのきっかけになる言葉や行動をみんなでなくそう。

2 「自分や他人の命を大切にしよう」

優しい人になろう、思いやりのある人になろう、お互いの良さを認め合おう、そして命の大切さについて考え、行動しよう。

3 「一人で抱え込まず、相談しよう」

いじめによって辛い思いをすることがないように、また、一人で抱え込むことがないように、話しやすい人に必ず相談してください。受けとめてくれる人が必ずいます。

4時間目の道徳科の授業では「言葉の向こうに」という題材で、インターネット上でのコミュニケーションから起こりうるトラブルを元に、「人とのかかわりあいにおいて大切なことは何か」について考えを深めました。(右写真:1年2組「道徳」の様子)



これを機会に、家族の方と「SNS の使い方」や「いのちの大切さ」について話し合ってください。

本校には、心の悩みを相談することができるスクールカウンセラーの桐原先生と、生活の中で抱えている様々な問題の解決を図る福祉の専門家のスクールソーシャルワーカーの阿部先生が、ほぼ毎週木曜日に在籍しています。

※ 相談したい生徒や保護者の方は、遠慮なく、次の相談窓口の先生にご相談ください。

体罰・セクシャルハラスメント及びいじめ等の相談窓口 (0829) 72-1145

教頭:石本先生 生徒指導主事:播本先生 養護教諭:角谷先生

学年主任:(1年)秋田先生 (2年)丸本先生 (3年)前田先生

体育祭に向けて「一味同心」

体育の授業を参観すると、リレーのバトンパスの練習やソーランの練習の場面を見かけます。昼休憩になると、大縄をグラウンドに持ち出して練習している学級があります。放課後には学級旗を作成したり、美術部が横断幕を作成したり、吹奏楽部が行進曲を練習したりする姿を見ます。23日の体育祭本番に向けて、それぞれが準備を進めています。佐伯中の伝統を引き継いだ生徒の皆さんが活躍する姿を、先生たちだけではなく保護者や地域の皆様も期待しています。

当日だけではなく体育祭までの取組が、皆さんの今後の成長につながります。体育祭が終わった時、勝ち負けにこだわらず皆さんにとって良い思い出になるためには、お互いの声掛けや応援も大事です。全員でいい体育祭にしましょう。



横断幕制作 (美術部)



学校運営協議会での熟議



話し合ったことを発表

また、学校運営協議会では、生徒会執行委員の皆さんが協議会の大人の方たちと「明日も通いたいと思える学校」をテーマに熟議を行いました。たくさんの意見が出たので、地域の方にご協力をいただいて、一つずつ実現していきましょう。